

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター				
①	指標名	会員数及び会員就業率			目標値	会員数1,180人、就業率85%
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人、%)	1,170、80.8	1,152、79.8	1,135、81.8	当該年度最終日の会員数、当該年度就業率	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 平成30年度が初年度となる第四期中期目標における3大目標の一つである「会員の増強」を達成するため、平成30年度事業計画に掲げた期別目標の内、組織の維持拡大の基礎となる会員数の拡大及び会員の状況に合わせた働く環境の整備などによる就業率のUPを、経営の数値目標とした。				
業	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①シルバー人材センターへの入会を促進させるため、地域、職種等のターゲットを絞り込んだ説明会を実施する。 ②全会員による推薦制度等を含めた入会促進策の検討を行う。 ③会員募集に関して市報への掲載だけでなく、ハローワーク等の関係団体との連携により、高齢者で仕事を希望する方の情報が安定的に得られる方法等について検討する。 ④入会後の就業相談、就業促進のための講習会などの実施内容を見直し、充実することにより、就業率の向上を図る。				
	内容					
②	指標名	事業契約額(請負・委任事業、派遣事業等)			目標値	393,000千円
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	379,480	376,677	383,930	28年度より派遣事業を開始	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(1) 経営健全性の確保	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 センターの経営基盤の安定を目指し、平成30年度が初年度となる第四期中期目標における3大目標の一つである「就業先拡大」を達成するための数値目標として、平成30年度事業計画に掲げた期別目標の内、請負・委任事業、派遣事業の契約額の増加を経営目標とした。				
務	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①関係団体の諸会合への参加とPR活動を積極的に行う。 ②新規受注業務に速やかに対応できるよう、会員の業務別登録など、体制整備を行う。 ③就業開拓員の活動目標の設定と進捗管理を徹底する。 ④就業開拓がスムーズに行えるよう、企業等訪問時資料を見直しを行う。				
	内容					
③	指標名	事務局体制の改善(臨時職員の削減)			目標値	常時雇用臨時職員 0人
	過去の実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	1	1	1	常時雇用臨時職員数	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目				(6) 組織、職員数等の適正化と目的、目標達成に向けた効率的運営の推進	
	設定理由等	※指標、目標値の設定理由等について記入してください。 現在、市派遣職員1名、正規職員5名、再任用職員1名、嘱託職員5名、常時雇用臨時職員1名の体制でセンターを運営しているが、28年度末で次長が、29年度末で嘱託職員3名が退職したことにより、その引継ぎ等が大きな負担となった。少人数の組織のため、職員等の安定的雇用、職員の入退職への対応等、体制の整備を行うとともに、業務の効率化を行う。				
内	取組内容	※目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①有期雇用の嘱託職員の無期雇用制度を導入するとともに、嘱託職員への人事評価制度も採り入れ、有用な人材の安定雇用を図る。 ②現在、各担当がそれぞれに作成しているマニュアル等について、統一的な書式として整備し、退職等による業務変更にも対応できる体制の構築を図る。 ③上記マニュアルの整備にあたって、業務内容の簡素化に取り組むとともに、業務の繁忙期を会員の臨時雇用で対応することにより、事務局人件費の減を図る。				
	内容					